

平成 20 年度 行政書士試験(11 月 9 日実施)

## 解答予想

**【正解番号と解答】**

(11 月 11 日現在)

法	問題	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
	正解	5	5	4	3	5	5	2	3	4	5
	問題	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
	正解	5	5	3	1	5	5	4	2	3	3
	問題	問 21	問 22	問 23	問 24	問 25	問 26	問 27	問 28	問 29	問 30
	正解	2	3	2	5	3	4	5	3	3	1
	問題	問 31	問 32	問 33	問 34	問 35	問 36	問 37	問 38	問 39	問 40
	正解	5	1	4	2	4	1OR4	2	4	3	5
令	問題	問 41				問 42					
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ		
	正解	19	10	15	2	18	4	19	14		
	問題	問 43									
		ア	イ	ウ	エ						
	正解	11	2	5	19						

一般知識	問題	問 47	問 48	問 49	問 50	問 51	問 52	問 53	問 54	問 55	問 56
	正解	2	3	1	2	1	2	4	4	4	2
	問題	問 57	問 58	問 59	問 60						
	正解	5	4	4	3						

<記 述 式>

問題	問 44
正解	<p>&lt;解答例 1 &gt;  Y 県を被告として、申請拒否処分の取消訴訟と、申請許可処分の義務付け訴訟を併合提起すべき。(44 字)</p> <p>&lt;解答例 2 &gt;  Y 県を被告として、申請拒否処分の取消訴訟又は無効等確認訴訟を義務付け訴訟に併合して提起。(44 字)</p>
問題	問 45
正解	<p>&lt;解答例 1 &gt;  賃借人に賃貸人に対する背信的行為と認めるに足らない特段の事情がある場合。(36 字)</p> <p>&lt;解答例 2 &gt;  賃借人の当該行為が賃貸人に対する背信的行為と認めるに足らない特段の事情がある場合。(41 字)</p>
問題	問 46
正解	<p>&lt;解答例 1 &gt;  譲渡人が債務者に通知し、又は債務者が承諾をしなければ、債務者に対抗できないから。(40 字)</p> <p>&lt;解答例 2 &gt;  譲渡人から債務者への通知、又は債務者の承諾が債務者への対抗要件となっているから。(40 字)</p>

※上記の解答は、弊社が予想したものであり、実際の解答とは異なる場合があります。  
確定したものではないので、ご注意ください。

(株)日本マンパワー